

# ハーブティ

男女共同参画社会とは「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」です。

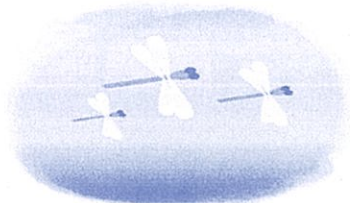
## 家庭での男女の役割について聞きました。現実と理想のギャップ あなたの家庭の **男女共同参画度指数** は？

### 男女共同参画アンケート あなたの家庭は何点かな？

質問項目	現状(現在はどちらが主役?)					あるべき姿		
	主に女性(妻)	どちらかと言えば女性	両方・出来る方がやる	どちらかと言えば男性	主に男性(夫)	理想としては女性	両方・出来る方がやる	理想としては男性
<b>&lt;収入&gt;</b> 1・生活のための収入を得るのは								
<b>&lt;家計&gt;</b> 2・家計を切り盛りするのは								
<b>&lt;家事&gt;</b> 3・食材の買い出し 4・調理(料理を作る) 5・食卓の準備 6・後片付け(食器洗い、収納) 7・お茶入れ 8・お酒のつまみづくり 9・冷蔵庫の管理(新旧の入れ替え) 10・ごみだし 11・室内掃除 12・庭掃除/草取り 13・トイレ掃除 14・洗濯 15・電球の交換								
<b>&lt;育児&gt;</b> (過去を思い出して) 16・おむつ替え 17・ミルクやり 18・子供(幼児)の入浴 19・寝かしつけさせる								
<b>&lt;教育・躾&gt;</b> (過去を思い出して) 20・保育園/幼稚園の送迎 21・遊び相手 22・宿題/勉強を教える 23・躾 24・怒り役 25・慰め役 26・入(園)学/卒(園)業式への参加 27・学校参観 28・PTA会等の対応 29・進学相談 30・悩みの相談(恋愛/人生/結婚/就職) 31・旅行の計画 32・家族で外食した時の支払い								
<b>&lt;介護&gt;</b> (過去・将来を含めて) 33・親の介護(自分の親) 34・親の介護(相手の親)								
<b>&lt;冠婚葬祭&gt;</b> 35・結婚式 36・葬儀 37・親戚付き合い								
<b>&lt;自治会/近所付き合い&gt;</b> 38・自治会役員会 39・自治会行事(お祭り/ごみゼロ/防災/ 40・向う三軒両隣の付き合い								
○の合計数								
<b>男女共同参画度指数</b>								

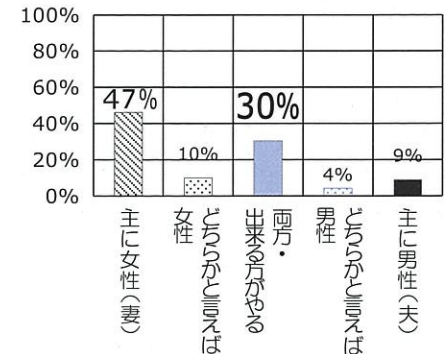
【男女共同参画度指数】の計算方法  
 =(上表の「両方・出来る方がやる」欄の○の個数÷40)×100

100点満点で点数が多いほど、「家庭内男女共同参画度」が高い事を意味しています。  
 ※尚、この「男女共同参画度指数」はこのアンケートだけに適用するもので、一般的なものではありません。

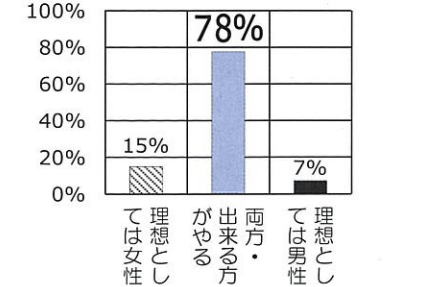


### <理想と現実のギャップ>

現実(家庭内の役割) [図2]



あるべき姿(理想として) [図3]



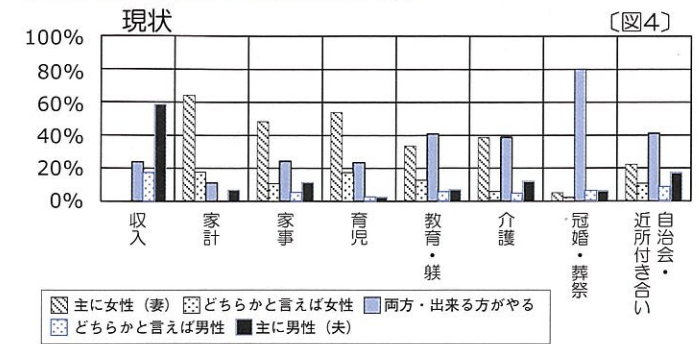
【図2】【図3】は「現実」と「あるべき姿」とのギャップがいかに大きいかがよく分かります。  
 理想としては「両方・出来る方がやる」が78%と非常に高いが、現実には30%と大分かけ離れていることが分かります。

アンケートに回答頂いたかた : 114名

- 性別 : 男性=46人 女性=68人
- 年代別 : 40才以下=20人  
41~64才=42人  
65才以上=52人
- 就労別 : 働いている(共働き・パートを含む)=41人  
無職/専業主婦・夫=53人  
(一部未記入が有り合計が合わないところがあります)

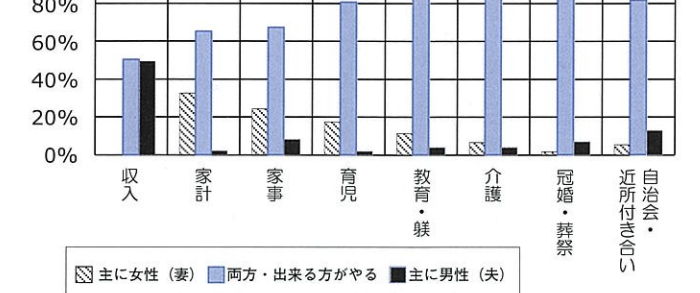
調査月: 2014年6月

### <どっちが主役?>



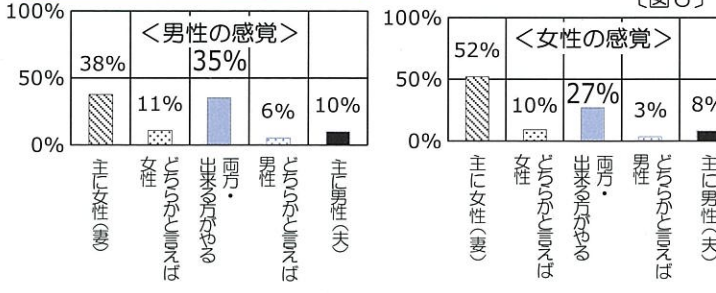
【図4】からは稼ぐ(収入)のは男性。家計、家事、育児は女性。昔ながらの風習?慣習?が現在も続いている様子が伺われます。

### あるべき姿(理想として) [図5]



しかし、【図5】「あるべき姿(理想として)」は、どの項目においても男女の区別なく、「両方・出来る方がやる」を理想としていることが分かります。  
 すなわち、「男女共同・・・」を認識しているが、現実として、まだまだ出来ていないこと(ギャップ)がよく分かります。

### <男女間の感覚差>

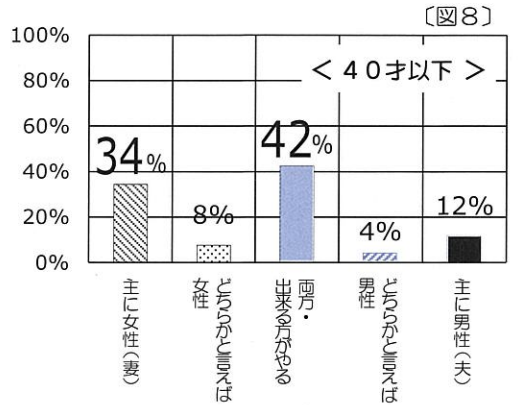
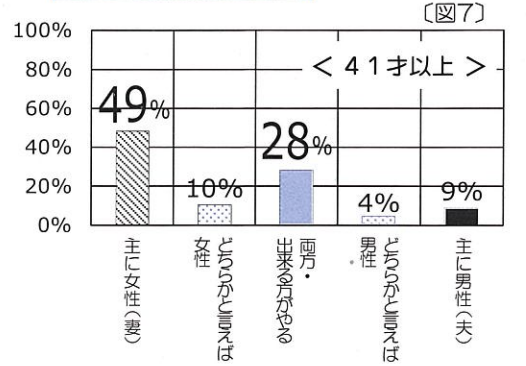


【図6】は、男性と女性の家庭内での「共同参画」に対する認識・感覚の温度差、すれ?が現れている様に思えます。  
 すなわち、男性は「両者でやってる」と言う思いが35%に対し、女性は27%しか協力してくれていない・・・  
 まだまだ女性に負担がかかっている。52%と言う数字が、その思いを表している様に思えます。



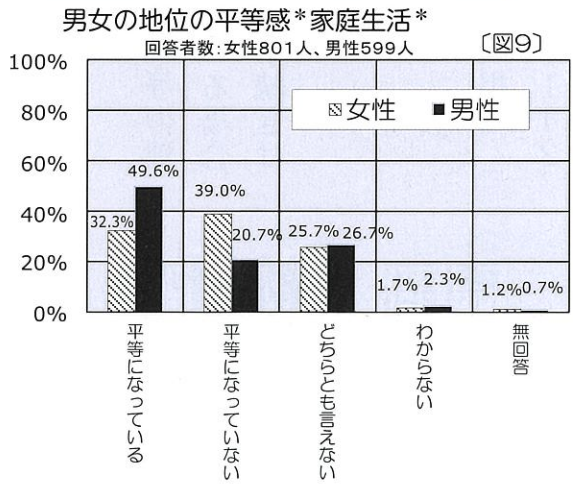
このアンケートは白岡市くらしの会、白岡国際交流会、及び有志住民の皆様のご協力を頂きました。ご協力に深く感謝を申し上げます。

### <世代間差>



【図7】と【図8】で分かるように、「両方やる」が41才以上では28%、40才以下では42%となっています。やはり若い世代の方が「家庭内参画」意識は高いようです。

### <埼玉県の意識実態調査結果>



【図9】は平成24年度の埼玉県の調査結果(一部抜粋)であるが、やはり、平等感について、男性と女性の感じ方はだいぶちがっている様です。

編集後記  
 「男女共同参画」・・・うーん、古くて、新しいテーマ。今回のアンケートでも理想(あるべき姿)と現実の差がはっきり出ていたと思われまます。  
 家の仕事は思った以上に時間がかかり、ストレスもたまりまます。互いに手伝えない分、優しい言葉がけをしてみたらいいかな? 気持ちが安らぐのでは・・・  
 <編集委員>  
 高橋 タマ 越村 偕子 川口 定美  
 発行元 地域振興課人権担当 内線386